

アラブ首長国連邦向け
盆栽類の輸出に関わる現地市場調査

2015年3月

日本貿易振興機構(ジェトロ)
関東貿易情報センター

本報告書で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

目次

第1部 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査内容	1
3. 調査結果の概要	1
第2部 輸入・取扱業者のリストアップ	3
第3部 輸入・取扱業者へのヒアリング	4
関連法令リスト(仮訳)	17

アラブ首長国連邦向け盆栽類の輸出に関わる現地市場調査

第1部 調査概要

1. 調査の目的

現在、日本からの盆栽輸出の主要地域は中国、ベトナムなどアジア及び欧州であるが、これらの地域においては、既に日本の生産者と現地の取扱業者との関係が確立されており、新たな販路開拓、輸出量の拡大がなかなか難しい一面もある。

そこで、新しい輸出市場として、富裕層の割合が高いアラブ首長国連邦について、輸入規制、流通経路、取扱業者等を調査することにより、新たな販路を開拓し、輸出の拡大に寄与することを目的として調査を実施した。

2. 調査内容

アラブ首長国連邦への盆栽の輸出可能性を探るため、ドバイ首長国において次の調査を実施。

- (1) 輸入・取扱業者のリストアップ
- (2) 輸入・取扱業者へのヒアリング
- (3) 植物(盆栽)の検疫要件、輸入制度、規制等の調査

3. 調査結果の概要

調査の結果、以下のような問題点が浮かび上がってきた。アラブ首長国連邦に盆栽を輸出していくためには、これらの点をいかに克服していくかが課題となる。

- (1) ドバイの夏は気温 50 度、湿度 90%に達し、過去の例では、盆栽は夏(7～8月)を越すことができず枯れてしまっている。室内でも栽培できる方法の確立、指導が必要となる。
- (2) 現地における盆栽の知名度はまだ低く、なぜ日本の盆栽が他の地域産に比べて高級なのか、盆栽を既に取り扱っている業者はともかくとして、消費者にまでは理解されていない。現地の富裕層も、価値があると判断したものを購入するので、いかに日本産盆栽の価値を伝えられるかが重要である。このため、中国産などに比べ高価な日本産の盆栽の価値、質の高さの理由を知ってもらう普及啓発活動を行っていくことが必要と思われる。また、盆栽購入後の手入れの仕方を知る人がほとんどいない。現地で

は、庭木や観葉植物の手入れは、購入者が剪定業者、庭師などに依頼して行っており、そのため、盆栽を販売した後のアフターケアができる体制、具体的には盆栽(植木)の卸・販売会社の技術者、選定業者、庭師などに盆栽の作り方、手入れの技術を教えることが必要である。

- (3) アラブ首長国連邦側の検疫条件によって、自然土がついたまま輸出することができない。輸出の際には、根の周りにピートモス(ミズゴケなどの堆積物からできる)やココピート(椰子の実の繊維からできたもの)を使用するとのことだが、土を落として輸出した樹木が現地でしっかり根付くかが課題である。

第2部 輸入・取扱業者のリストアップ

ドバイにおける植木・盆栽類の輸入・取扱業者を、電話帳やインターネット検索にてリストアップし、同時に日本の盆栽の取り扱いに関心があるかどうかについて確認した。

番号	会社名	住所	電話	Fax	E-mail	URL	日本の盆栽への関心
1	Bonsai Middle East	Villa 12, Street 12a, Jumeirah 2, Dubai, UAE	+971-56-6051956	—	info@bonsai-dubai.com	www.bonsai-dubai.com	有
2	Dubai Garden Center	37579, Dubai, UAE	+971-4-3400006	+971-4-3402004	garden-centre@desertgroup.ae	www.dubaigardencentre.ae	—
3	Al Lokrit International Group	22901, Dubai, UAE	+971-4-3477654	+971-4-3477658	cm@lokrit.ae info@lokrit.ae	www.lokrit.ae	—
4	Gover Horticulture LLC	115786, Dubai, UAE	+971-4-3809450	+971-4-38099451	gover@emirates.net.ae	www.goverhorticulture.ae	有
5	Jenny Flowers	28486, Dubai, UAE	+971-4-3346222	+971-4-3375705	info@jennyflowers.com	www.jennyflowers.com	無
6	Sharon Flowers	215147, Dubai, UAE	+971-50-1677930	+971-2-5646996	sales@sharon-flowers.com	www.sharon-flowers.com	無
7	Ever Bloom Gardens	231133, Dubai, UAE	+971-4-2580007	+971-4-2582121	everbloomgardens@hotmail.com	www.everbloomgarden.com	有
8	Madina Gardens	23118, Dubai, UAE	+971-4-3447853	+971-4-3445133	madinagardens@gmail.com	N/A	無
9	Wahat Al Sahraa Nurseries	37579, Dubai, UAE	+971-4-2891063	+971-4-2891164	nursery@desertgroup.ae	www.dgnurseries.com	有
10	INTRA FLORA PLANTS	8336, Dubai, UAE	+971-4-3212441	+971-4-3211281	sales@intrafloraplants.com	www.intrafloraplants.ae	有

第3部 輸入・取扱業者へのヒアリング

ドバイにおける植木・盆栽類の輸入・取扱業者のリストアップにおいて、日本の盆栽に関心があると回答した業者を中心に、日本産盆栽の輸入・販売経験の有無、主な輸入先、日本から盆栽を輸入する際の課題、現地での盆栽需要などについてヒアリング調査を行った。

なお、ヒアリングに対する回答は担当者個人の見解であり会社を代表するものではない。

1. 会社名: **Bonsai Middle East**

ドバイでの盆栽の第一人者。1991年から盆栽の仕事をしている。

当地の気候では、盆栽は7～8月に枯れてしまう。オランダから輸入したゴヨウマツが、夏の気候を乗り越えられるか、今年テストをする。クロマツは一度夏を越すことができたので、当地の気候でも対応できることが分かった。エゾマツは夏を越せなかった。

当地における盆栽のイメージは、高さ60cmくらいのもので、花ものでは、サクラが最も知られている。盆栽を購入しても3カ月程度で駄目にして、また新しいものを買う傾向がある。

現在は日本から輸入しておらず、中国産の盆栽をオランダ経由で輸入するほか、インドネシアからも輸入している。中国から一度オランダに輸出し、12カ月検疫を経たものを、土付きでドバイに輸入している。当局に信頼されているので、到着時のチェックはなく、時々園まで抜き打ちチェックにくるだけで済んでいる。検査では表面の土と、抜いた根の部分に虫がいないかを確認している。

インドネシアから、火山の周辺にある土付きで輸入している。ウォータージェルを混ぜてあることもある。土はインドネシアの Soil testing center で検査されている。

日本から輸入する際には、ココピートを土の代わりに利用するのだろう。

大宮盆栽を知っている人は、おそらく2～3人しかいないので、現状では売れないのではないだろうか。高松であれば、インドネシア産より品質が高いので、可能性がある。ちなみに、インドネシア産は10米ドルくらいから買える。

高価な盆栽を売ろうと思うなら、盆栽博覧会に出さないといけない。マーケティングが必要。自分も当地で展示会を主催している(2015年11月頃開催予定)。

粘土を焼いた素材を、赤玉土の代わりに利用している。素材はドイツから輸入し、販売もしている。赤玉土は熱、手入れの悪さで砕けて細くなるので使用するのが難しい。

ドバイには所得の高い人は多いが、3～4年で国を出る人が多く、長くドバイにいないため、高価な盆栽を購入する、という決断まで至らないケースが多い。買ってすぐ売れるものを取り扱いたいと思っている。

日本は遠く、飛行機でも長時間かかるので、買い付けに行くのはなかなか難しい。



園の外観



園主の Mr. Robert Macnair



園の内部の様子



小品盆栽



盆栽について熱く語る園主



粘土を焼いたもの(ドイツから輸入、販売)



日本で売られているアルミワイヤー
オランダから輸入



鉢はドバイで購入(1個約 400 円)



シンパク。一鉢約 6 万円で販売



マツ類



中型の盆栽。約 12 万円で販売



石付きの盆栽も作っている



インドネシアから輸入
約 1.3 万円で販売



道具類。5 本セットで約 45,000 円で販売

2. 会社名: Al Lokrit International Group

同社は切花の卸売業者(一部小売も実施)であり、アクセサリー販売、造園ビジネスも行っている。この仕事を始めて26年。従業員数はアラブ首長国連邦で130人。タイ、マレーシアにも会社があり、全部合わせると150人。

日本ともビジネスを行っている。2014年10月、大阪、京都、愛知、千葉(国際フラワーEXPO、IFEX)を訪問した。

アラブ首長国連邦に輸入する場合、自然土がついている場合は輸入不可。ピートモスやココピート、粘土を焼いたものを使う。中国から輸入しようとした際、土の関係で輸入できなかったことがある。輸入する際には船便でリーファーコンテナを使用し、ピートモス、ココピートを根に巻いて、水を与えておけばいいのではないかと。

中国から試験的に輸入したものは、1個15~16ディルハム(約500円)。最初は少量で、その後大量に輸入した。ただしそれらは特に販売はせず、ガソリンスタンドに置いたり、希望者に無料で配ったりした。

土は粘土が良い。現地の土を使って鉢植えを作り直す。ドバイに輸入してから、鉢植えが再生するまで6カ月を経たら、インド、サウジアラビア、クウェート、カタール、オマーンなど近隣諸国に再輸出するための拠点とすることもできる。

アラブ首長国連邦に進出するのであれば、ローカルパートナーと組んだらどうか。自分たちは土地があるので、当社をベースにし、協力関係の中で、盆栽だけではなく室内、屋外の観葉植物の取り扱いもしたい。

この倉庫以外に、アクセサリーを取り扱っている倉庫やショールームもある。ここでは、生花を扱っている。「Flora Holland」のメンバーとして、アフリカ産の花をオランダでオークションしている。

売り先は5~7つ星ホテル、花屋、イベント会社、ウェディング関連。卸売りだが、一部小売りも行っている(LULUショッピングセンターの前に店舗を開設)。冷蔵バンを12台所有し、他の首長国にも販売して回っている。

現在、円安なので日本からの輸入を増やそうとしている。他の産地に比べ、日本産は値段が高く、特別な商品として扱っている。

同社でも土の問題が解決されれば、将来的には盆栽を扱いたい。当地ではほとんどの植物は、屋外での管理は難しい。屋内で育てるためのコンディション作り、特に光の照度はどれくらい必要なのかを知りたい。室内から、日光に当てるために外に出すと、急激な温度、湿度の変化が樹木にとって問題になるのではないかとと思われる。

当地で盆栽が分かっている人は少ない。富裕層にしても、盆栽の価値に対して理解のある人が少ない。当地の人は金は持っているが、持ち過ぎている人の使い途を盆栽に向けさせる工夫が必要。

日本の植物防疫所に、日本の土は大丈夫だと UAE 側に働きかけてもらったかどうか。日本の植物防疫は信頼されているので、土つき植物(盆栽)の輸出がどれだけ大切なものか伝えてもらえば、効果があるのではないだろうか。



倉庫、オフィス外観



エクアドルから輸入したバラ



モーリシャスから輸入



スリランカから輸入

3. 会社名: **Gover Horticulture**

園芸関連の商社、庭園の管理会社。スペインから輸入した種の販売、中国・台湾の園芸用品の販売をしている。バーレーン、サウジアラビア等も商圏。ドバイ空港に置いてある植木の台(ステンレス製)は同社が納入している。

今はアクセサリ類の取り扱いがメインだが、2 カ月後に屋内、屋外用の園芸センター(ガーデンセンター)を開設する。4,000 m²のうち 500~600 m²が屋内。メンテナンス要員(庭師)が 100 人。

盆栽についての知識がないので、庭師たちのトレーニングをしてもらいたい。また、長く手入れしなければならないので、どのような技術的なサポートがあるのかが気になる。購入者からすると、誰が盆栽、植木類をメンテナンスするのか、という話が必ず出てくる。販売後のアフターフォロー体制を長期的に考えていくことが必要であろう。

同社では当初タイ、中国からの大量生産された盆栽をコンテナ船で輸入していた。今持っているものは中国産。日本産の盆栽は中国産と違うということを知ってくれる人もいる。

日本の盆栽は特別なものなので、自分のフィールドとしてできるのであればやっていきたい。技術的な面を勉強したい。

日本の盆栽を普及、販売していくためには、当地にディーラーを置いたほうがいいのではないだろうか。

当地の夏は気温 50 度に達し、湿度も高い。室内で対応できる可能性はあるか。室内盆栽のほう売れるのではないか。

買い付けで中国の広州、シンガポールに行っている。

オランダから植物が来ている。オランダから来るものはほとんどが中国産のようだ。



同社が入居する建物外観



中国・台湾製の園芸用品



植木の台はドバイ空港に納入している



スペインから種を輸入し販売

4. 会社名:Ever Blooms Gardens

ドバイで14年間この仕事をしている。園芸、庭の手入れが主な業務。

盆栽は当地で調達、販売している。現在輸入はしていないが、将来的には考えている。日本の盆栽に興味があり、将来的には取り扱う可能性はある。ドバイは、気候的に室内に置かないといけない。

室内の観葉植物で、高さ1~2メートルのものを120~150ディルハム(約4,000~5,000円)で売っている。

今の顧客は、一度に10~20鉢のまとめ買いをしていくが、日本の盆栽だと値段が高いため1つずつの販売になるだろう。今の顧客は会社相手が95%で、当社は販売後のメンテナンスを主な業務としている。

盆栽は流行する可能性はあるが、購入者個人がメンテナンスを行うことは少なく、メンテナンス会社に費用を払って作業を依頼することになると思われる。メンテナンスの仕方を教わりたいが、日本側の技術者が直接当地の労働者に教えるのではなく、マネージャークラスが覚えて、労働者に教えることになるだろう。労働者は英語が分からないため。

ドバイで、盆栽の愛好家は聞いたことがない。

当地の人の趣向は、一概にはいえない。花があるものが好きな人もいれば、緑が多いものが好きな人もいる。

輸入する際の土は、溶岩を砕いたものになるのだろうか。



オフィスのある建物外観

5. 会社名: **Wahat Al Sahraa Nurseries**

植物の卸売業。時々個人にも販売している。20年経営している。植物農園には手入れする人が20人いる。グループ全体で300人が働いている。訪問した園の面積は7万平方メートル。アラブ首長国連邦全体では10万平方メートルを所有している。

盆栽は中国から輸入(年間で10~12コンテナ分)。大量に買い付けるため安価で輸入できる。輸入して10日間園内に置き枯れた葉を取った後、新しい葉が出てきたときに販売する。

大宮盆栽は値段が高すぎる。ここで扱うのは不可能。気候も合わない。1年で2~4個しか売れないだろう。ゴヨウマツやシンパクは当地の気候に向いていない。日本のカエデはドバイでは見たことがない。小さなみかんがなっている木は、食べないが、観賞用として人気がある。

買った後の手入れは、園では行っていない。購入者には専用の庭師がいるのだろう。

大きいものは輸送費が高くなるため、必ずしも好まれるとは限らない。目新しいもの、安い商品にチャンスがある。



園の入口



事務所建物



イチジク属

(中国から輸入、約6,300円で販売)



中国から安く大量に輸入



実がなるものが観賞用として人気



中国からの輸入品

6. 会社名: INTRA FLORA PLANTS

Satwa park 入口横の植物店。建物の中のほか、外の敷地にも鉢植えを置いている。卸売りも小売りも可能。各家庭向けの販売員もいる。

売値は 100～1000 ディルハム(約 330 円～3,300 円)が多い。大きいほうが値段が高くなる。盆栽は実のなるものが好まれている。購入者の 40%は外国人。

中国人がアラブ首長国連邦で鉢植えを栽培、販売しているケースもある。



店舗の外観



大きいサイズの鉢植え。約 2 万円で販売



約 4,000 円で販売



約 6,500 円で販売

〔参考〕 **Grand HyattHotel Dubai** の中庭

当地の高級ホテルでは、中庭に庭園を配置しているところもある。庭園には池があり、錦鯉も泳いでいる。

日本庭園という趣向であれば、日本風な植栽や盆栽を配置する可能性もあるのではないだろうか。また、高級日本料理店などでも、和の雰囲気作りのために、盆栽を飾り付けるなどの需要があるかもしれない。



日本庭園というより熱帯の雰囲気



池では錦鯉が泳いでいる



竹やぶと錦鯉がいる雰囲気は盆栽と合うかもしれない



庭園横のテーブルに置かれた鉢植え

3. 包装に記載の種子業者の検査日がUAE向け貨物の受領日から6カ月を超えないように、記入事項は、同封物および自国のライセンス(輸入ライセンス)に記録されたデータの証明書の情報と一致していなければならない。
 4. 種子は植物の病害虫および疾病ならびに他の作物種子および雑草が一切なく、異物および不純物が一切ないものでなければならない。
 5. 種子容器および種子は以下の規格のものでなければならない。
 - 容器は損傷することなく種子の生命力を維持するために各作物に適していなければならない。
 - 容器は防錆金属もしくはアルミ箔を敷いた紙袋でできているか、またはプラスチック容器もしくは黄麻布でなければならない。
 - 全ての必要なデータを包装に表示しなければならない。
-
- 作物名および商品名
 - 種子の日付、および通常の保存条件による押印された有効期限の保証または認証印、および企業が作成した証明書
 - 製造番号
 - 純度および発芽率
 - 製造者名および原産国
 - 包装前に種子に関して行われた薬品処理
 - 包装内の種子の正味重量または袋内の種子の数
 - データは、アラビア語および英語またはその両方で、消去、抹消または剥離できないように明記する。

有機種子に関して:

- 管理機関のいずれかが発行した「有機産品認定書」を提出し、商品名、輸入者および輸出者、包装数、包装重量ならびに商品の種類および貨物を受領する団体の名称を記入する。
- 商品が複数の生産地で生産される場合、包装に商品番号および管理機関を記入すると共に番号を付す。
- 輸入に関して、輸入者は、商品が有機栽培であることを示す生産国の管轄認証機関から発行された輸入証明書を提出する。
- 有機生産および管理機関名を識別するデータラベル、ロゴを商品に貼付する。

ヤシの樹木、側枝および屋外用の植物、苗木に関して:

1. 輸入許可書に記載されていない種類を輸入することは認められない。

2. 苗木および植物に付着した自然土の輸入を禁止する。
3. 何らかの病害虫および植物疾病に汚染されている植物および苗木の導入を禁止する。
4. 苗木の輸入がワシントン条約(絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約:CITES)に該当するとき、人工繁殖を行った場合には人工繁殖証明書を添付しなければならない。
5. 植物由来の容器の輸入を禁止する。
6. 農業または農業再生向けの輸入植物の各貨物に、学名および栽培地を説明する病害虫およびウイルス病に罹っていないことを証明する原産国の管轄当局が発行した衛生証明書を添付しなければならない。
7. 2011年閣議決定第(315)号の付則第1に従い、disease eggsもしくは黄枯病の感染記録もしくは登録、またはヤシオオオサゾウムシもしくはその一部の害毒の感染が認められた国からの、この病気の宿主または自然宿主であることが科学的に証明されたヤシ類およびソテツ科植物の輸入を禁止する。
8. 組織培養されたヤシ類の苗木で幹の直径が平均5cm以下のものの輸入を許可する。
9. 天狗巣病の感染記録のある国からのカンキツ類の苗木の輸入を禁止する。
10. イラン・イスラム共和国からのカンキツ類の苗木の輸入を禁止する。
11. 2012年閣議決定第423号の別表第(1)に従い、トマトハモグリバエの被害が記録されている国の栽培用に利用するトマト、ナス、いも類、ピーマン、豆類およびナス科ハーブ類またはその他の野菜類の果実もしくは苗木またはその一部を輸入または再輸出するときには、あらゆる段階のトマトハモグリバエ感染が一切ないことを記述した衛生証明書を添付する。
12. 全ての国からのコノカルプス・ランキフォルニス(Damas)またはコノカルプス・エレクスツ(ボタンマングローブ)の苗木、種子、茎挿しの輸入を禁止する。

ミツバチに関して:

1. 輸入許可書に記載されていない品目の輸入を防止する。
2. 以下の書類を出荷品に同封する。
 - 輸出国の管轄当局により証明されたハチ衛生証明書。
 - 輸出の2カ月前に対策として行った処理の種類を表示し、以下に列記するハチの疾病および病害虫が存在しないことにより認定を受けたハチ商品証明書。
 - ミツバチの輸入規制に関する2002年省令第223号に従い、検査により以下に列記する疾病および病害虫の兆候が見られるハチの出荷品の入国を防止し、全ての費用を輸入者が負担して、出荷品を輸出国に返送するかまたは廃棄する。

- バロア病
- アカリンダニ症(dream bronchi)
- ノゼマ病
- パーキンソン病ウイルス
- ミツバチシラミバエ
- アメーバ病
- アメリカ腐蛆病
- ヨーロッパ腐蛆病
- チョーク病
- Polycystic disease brood

3. 以下の種類のハチの輸入を禁止する(アジア産ハナバチ、オオスズメバチ、アフリカ品種のハチ)。

輸入包装の品質に関する特別条件

- 良質かつ新品のワックスタブレット
- 巣箱のオスバチの巣房数が少ないこと
- ハチの密封包装

使用する書式

農産物輸入許可申請書

サービス時間

申請書提出の平均時間:3分、条件を満たした完全な申請書の承認を取得するまでの平均時間:10分。

サービス料

- 種子、塊茎、屋外用植物、ヤシの樹木、側枝、屋外用苗木、屋外用植物の一部、ミツバチの輸入許可の手数料は300ディルハム。
- 委託手数料が特定されていない場合、300ディルハムが適用される。

取引数

- 1691

Copyright(C) 2015 JETRO. All right reserved.

問合せ先

サービスを提供する支所:

アブダビ

アブダビ・カスタマーサービスセンター

ドバイ

ドバイ・カスタマーサービスセンター

フラワービルレッジ農業検疫センター

シャールジャ

アル・ダイド・カスタマーサービスセンター

ラアスアルハイマ

ラアスアルハイマ・カスタマーサービスセンター

フジャイラ

フジャイラ・カスタマーサービスセンター

コールセンター: 8003050

電子メール: info@moew.gov.ae

アラブ首長国連邦
環境水利省



農産物輸入許可申請書

切り花

種苗

植物および苗木

輸入会社					
輸入会社の所在地					
ファックス			電話		
出荷情報					
備考	原産国	品種	学名	番号	
				1	
				2	
				3	
				4	
				5	
				6	
				7	
				8	
				9	
				10	

	申請者の氏名および署名		社印
--	-------------	--	----

2. 花卉貨物の引渡し (Release of flowers consignment)

〔原文 URL〕

<http://www.moew.gov.ae/en/our-services/agricultural/permits/release-for-cut-flower-consignment.aspx>

〔訳文〕

花卉貨物の引渡し

サービスコード

AAA-36-Q

サービスの内容

貨物が、その引き渡しにおいて 1979 年農業検疫法第(5)の条項で適用される条件および規格に適合するよう保証するために、出入口での関係農業検疫技術者による検査後、ワシントン条約に含まれていない切り花貨物を検査する。

サービスの手順

1. 電子フォームに記入する。
2. 手数料を支払う。
3. 貨物を精査する。
4. 貨物を引き渡す。

対象読者

企業

必要書類

- 船荷証券または納品書
- 目録またはインボイス
- 輸出国の管轄当局発行の植物検疫証明書
- 原産地証明書

条件

切り花に関して:

- 切り花を輸入する目的は繁殖用ではないこと。
- 切り花は根および果実が付いていない状態であること。

Copyright(C) 2015 JETRO. All right reserved.

- 切り花は検疫病害虫や疾病がない状態であること。
- 包装は良好な状態で、植物由来ではなく、土および汚染物が付着していないこと。
- 輸入禁止対象品種ではないこと。

観葉植物に関して:

- 輸入許可書に記載されていない種類を輸入することは認められない。
- 植物に付着した自然土の輸入を禁止する。
- 病害虫および植物疾病に汚染されている植物の導入を禁止する。
- 植物由来の容器の輸入を禁止する。
- 輸入禁止対象品種ではないこと。

使用する書式

なし

サービス時間

申請書提出の平均時間:5分、条件を満たした完全な申請書の承認を取得するまでの平均時間:20分。

サービス料

- 花卉または観葉植物の UAE 向け輸入貨物の検査または再検査を依頼するための手数料は 150 ディルハム。
- 輸入規制の不遵守の場合、輸入許可の所定の手数料を 10 倍にして計算される罰金が科せられる。

問合せ先

サービスを提供する支所:

アブダビ

アブダビ国際空港農業動物検疫センター

アル・アイン国際空港農業動物検疫センター

ドバイ:

フラワービルレッジ農業検疫センター

アル・マクトゥーム国際空港農業動物検疫センター

エミレーツ航空農業検疫センター

シャールジャ

シャールジャ国際空港農業動物検疫センター

ラアスアルハイマ

ラアスアルハイマ国際空港農業動物検疫センター

コールセンター: 8003050

電子メール: info@moew.gov.ae

アラブ首長国連邦向け盆栽類の輸出に関わる現地市場調査

2015年3月作成

作成者 ジェトロ(日本貿易振興機構)関東貿易情報センター
〒107-6006 東京都港区赤坂 1-12-32
Tel. 03-3582-4953

Copyright(C) 2015 JETRO. All right reserved.